

QSK つむぎ通信

2015・NO.112

ご案内

第33回つむぎの里定期総会

第12回つむぎの里後援会総会



新緑の候、つむぎの里の事業利用者さま、
後援会会員におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶
び申し上げます。日頃よりのご支援に、厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度のつむぎの里の定期総会を下記の通り開催いたします。

恒例により、つむぎの里事業の日頃の活動写真の上映を見ながらのご報告等と後援会総会
を同時に開催いたします。

今年の事業報告は、生活介護事業の利用者の方からも発表をしていただこうと計画中で
す。

利用者の参加を得て、活動の中の笑顔を一緒に感じていただければと思います。ぜひ、ご
出席ください。

記

日時：平成27年5月31日（日）

午前 10：00開会（受付9：30～）11：45

場所：つむぎの里多目的室

議案：

1 部 つむぎの里事業報告および決算報告ほか

（議決権は理事・評議員のみ）

2 部 つむぎの里後援会総会

① 26年度事業報告および26年度決算報告の承認

② 27年度事業計画案および27年度予算案の承認

社会福祉法人鶴林福祉会 つむぎの里 平成27年度 事業計画(抜粋)

サービス利用計画と関係機関との連携



平成27年3月末には、原則としてすべてのサービス利用者に、サービス等利用計画の作成が必要となり、すでに多くの方のサービス担当者会議が開かれ、ご本人と家族にとってのより良いくらしのイメージが描かれ始めました。

当法人だけでは応じきれない利用者のご家族のニーズを、どうつながるとうまく機能するか、良い情報と連携でそれなりの生活を維持していけるか、希望がかなうかが大切なポイントです。

決して思うようにシステムが利用できるとは言えませんが、関係者や社会資源を活用するネットワークのイメージは、これまでの当法人の基本姿勢と重なり、望ましい方向と言えます。

事業時間の変更と生活環境の変化



2015年3月に発表された障害福祉サービス事業の報酬改定では、生活介護事業の基本報酬や給食加算が減額され、厳しい運営になります。

生活介護事業は、かねてより時間延長を検討していましたが、国が示した基本6時間基準に沿って、9:30～15:30までにしました。延長の時間を余暇や健康活動などの活動の充実につなげます。

4月から直方養護学校が、直方特別支援学校に代わることで、生活時間の変化があります。家族支援は言うまでもありませんが、児童の側に立った支援からまず判断して、平日は支援学校の下校時間に合わせ、15:30～17:00とし、長期休みを2時間延長し、10:00～16:00としました。

人材の育成と確保



職員の安定した労働環境を確保することをベースに、研修や会議を重ね、障害者市民の権利をしっかりと学びながら、社会や利用者の求めに応える力量を備える努力をいたします。

法人としても、社会・経済状況及び福祉制度改正の動向等をさらに注視し、中長期的視点に立って法人経営を推進しつつ、引き続き、次の時代における社会福祉経営に対応できる法人本部の機能を強化するために、人材の確保を図ります。

グループホーム建設と児童用施設の建設



グループホーム検討委員会(毎月第3木曜日)を重ね、新しいグループホーム建設に取り組んできました。現在、実際の生活をイメージしながら、設計の打ち合わせをしています。今後は、費用的な見通しをたて、平成28年度国庫補助事業に申請します。また、今年度は児童事業用の建物の建設も並行して取り組みます。児童事業用の施設が完成すれば、法人の行う事業用施設について、環境の整備とともに耐震化、防災の取り組みが整います。そのため、つむぎの里に隣接する300㎡の土地を取得し、具体的なイメージを描いていきます。



職員全体会・研修会を行いました



毎年恒例の職員全体会を4月4日に行いました。初めに山下会長による講話があり、今後の福祉に対する国の予算配分を考えれば、将来にわたってつむぎの里の事業が順調になされるためには、利用者の方に対して質の高い支援（サービス）を提供できなければならない。そのためには職員が自己研鑽を積み個々の力量を上げることはもとよりチームとして仕事を行っていくことが大事であり、とくに職員間でのコミュニケーションが必要であること、そしてこれからの社会福祉法人として地域での役割も期待されていること等の話をされました。



施設長の瀬尾より27年度の事業計画、職員体制、虐待防止、リスクマネジメントについて説明がありました。次にサンフラワーによる取組を発表し事例検討会を行いました。パワーポイントを使いながら具体的に報告がありました。記録をとり検証しながら取り組んだ結果、職員が支援のポイントを共通認識でき良い方向が出来たことの報告がありました。



昼食をはさみながら、プロ並み(?)の岡松さんのトランプ手品や柴田さんの優しい歌声の弾き語りなど職員の交流を図りました。

午後からは、理事であり、顧問の司法書士の花島先生による「成年後見制度」の演題で講演していただきました。資料をもとに具体的に事例をあげて説明していただいたので、とてもわかりやすく、



保護者や職員からも活発に質疑応答がなされました。

最後は岡松さんの掛け声で職員一同、一本締めで終了しました。

スタッフ紹介



支援員 野澤香織



世話人 森富友紀



保育士 前田祐華

サンフラワー

～生活介護事業～

～サンフラワー 今年度の抱負は…～

今年度から、嚥下体操とストレッチ・マッサージを活動に取り入れました。嚥下体操は、昼食前に口の周りの筋肉をマッサージしたり、発声練習で歌を歌ったりしています。嚥下体操をするようになって、メンバーさんの中には、自分で意識して口を大きく動かして食事してくれるようになりました。また、ストレッチ・マッサージは、午後に行っています。作業療法士の先生にアドバイスをいただきながら、無理のない範囲で行っています。メンバーさんにとってリラックスした時間となっているようです。今年も新しい活動を取り入れながら、今まで行っていたバランスボール、ハンモック、ブランコなども引き続きやっていきたいと思います。『フレッシュで笑顔いっぱいのサンフラワー』を抱負に頑張ります！今年度もよろしくお願い致します (川邊)



夢ポケット

～生活介護事業～

今年の4月より、通園する仲間が変わることがありませんでしたが、通園時間、スタッフに変化がありました。責任者をしていた岡松がサービス管理責任者となり、柴田が夢ポケットの責任者となり、新しく野澤香織が配属してきました。時間やスタッフが変わることで、仲間たちへの不安につながらないか心配していましたが、すぐに慣れ、笑顔の夢ポケットが始まっています。



4月より、ホワイトディギフトで人気を博した『ビスキュイ(150円)』が新しく商品ラインナップに入りました。今年度も笑顔で、元気な夢ポケットが美味しい商品をお届けいたします。新生夢ポケットをよろしくお願いします。(柴田)



居宅介護事業・移動介護事業

新しいスタッフも増えて、新年度がスタートしました。お一人おひとりに合わせたサービスを提供できるように今年度も頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。(前田)

きらら

～生活介護事業～

春の三月は風が強く吹き、四月は雨で満開の桜も早々と落ちてしまいました。開所式を終えて、きらら一同はつむぎの里の美化・営繕活動や野菜作りの活動に動きを出しています。先日、大型のゴミ箱（仮置き場）を作り上げました。今年の夏野菜はきゅうり、ナス、ピーマン、オクラ、夏大根、モロツコインゲン豆などがすでに小さな芽を出し始めています。たまねぎ、じゃがいもも順調に育って5月から6月に収穫します。毎日楽しみながら、マイペースで活動していきます。（大村）



グループホーム

なのはな荘では、4月からつむぎの里の通園時間が変わり、お迎えが9:00 帰宅が15:40に変更になりました。朝のお迎えに間に合うか、帰宅後の生活リズムや体調はどうかなど、なのはな荘のスタッフは、緊張しましたが、スムーズに移行することができて、一安心です。4月より新しい職員が、夜間支援に入っています。入居者さんも、新しい職員が慣れるようにと、いろいろと心配りをしてくださっています。

クローバーハウスとシャンリバーの入居者のうち希望者で、3月15日・16日の1泊2日で、ハウステンボスに行きました。二つのホームの交流ははじめてで、夜景やバイキングのお食事を楽しめました。（浅野）

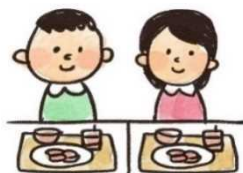
ご近所にお住いの方から、グループホームにと毎月10kgのお米を1年間差し入れていただくお申し出をいただき、先日、ホームを訪問していただきました。地域での新しいご縁に感謝しています。（瀬尾）

あそびむしクラス

児童デイサービス事業

いよいよ2015年度のスタートです！！ 新しいお友達を迎え、先輩の児童さんは本領発揮！荷物を持ってあげたり、盛んに遊びに誘ったりとつむぎ生活を気合十分にレクチャー中です。春休みは、まず待ちに待ったクッキング♪焼肉風炒め物やナポリタン等子ども達が大好きなメニューを切ったり、炒めたりと頑張って作りました。ちらほら咲き始めた桜に誘われて、料理をお弁当箱につめて、庭でお花見もしました。と～っても気持ち良い陽気の中で食べるお弁当は格別！！おかわりもどんどん進む進む。（笑）そして、皆大好きおもちゃ図書館にも行きました。優しいおもちゃ図書館のスタッフの皆様に迎えられて中に入るとまさに夢の世界★沢山のおもちゃでい～っぱい遊んで満足しました。進級・進学、季節の変わり目等、子ども達にとっても心身共に大きく変化する時期だと思います。子ども達が安心して毎日のびのび過ごせるような温かいつむぎをモットーに、今年度も楽しく、元気いっぱい、笑顔で子ども達と色んな遊びに挑戦していきたいと思います。私もつむぎ一年生で、子ども達と一緒に成長していきます★（前田祐華）

きゅうしょく 給食だより



H27.4 No.2
つむぎの里

すっかり春らしい暖かい季節となりました。新年度の始まりです。
4月1日(水)は、開所式・辞令交付式があります。給食は、スペシャルメニューとなっています。今年度頑張りたいことや、やってみたいことなどみなさんでお話しながら、楽しいランチタイムにしましょう。
気持ちを新たに、今年度も楽しい通園にしましょう！！

ある日の給食・・・



2月27日(金)ムース食
鶏肉のイタリアンソース煮、塩枝豆、がんも煮、若芽の酢味噌和え、水菜とたまごのスープ



3月3日(火)ひなまつりメニュー
ちらし寿司、白身魚の和風あん、春雨ポークジンジャー、ほうれん草のゴマ和え、お吸い物



3月18日(水)
ブリのみそ焼き、ブロッコリーのホイコーロー、ほうれん草とハムのマリネ、みそ汁

～みんなで楽しくランチタイム～



ホールでお誕生日会をしました！



なまえあてクイズ！！

このお魚なに？



このお魚を食べると・・・
★血液がサラサラになる
★美人になる
★骨や歯が強くなる



平成26年度いっぱい、生活介護事業スタッフの宇都宮恵子さん、水上和子さんがつむぎの里を退職されました。長年つむぎの里で頑張ってきたお二人からメッセージを頂きました。

つむぎの里との出会いは、30年以上も前で、私がまだ22歳の頃でした。当時、障害児者の方の在宅支援施設は十分でなく、たくさんの無認可作業所が、保護者や支援者の手で立ち上げられている最中でした。つむぎの里は「障害があっても誰もがあたりまえに暮らせる直方」を目指し、事業体でありながら運動体の要素が強く、通園事業をしながら広報活動をしたり、賛助会員の募集、映画会や物販などで活動費を作り出していたことを思い出します。山部の福祉センターを間借り、自家用車で送迎をしながらの活動ではありましたが、楽しく充実した毎日でした。当時のつむぎの里を知る方は、保護者や支援者の方の中でも少なくなっています。それだけ大きく発展してきたことを嬉しく思う反面、なぜか少しさみしくもあります。



子育てで10年間のブランクの後、30代半ばで再就職することができたのは、私にとってとても幸せなことでした。スタッフのみなさんや保護者の方々にいろいろな配慮をしていただきながら、なんとかここまで勤めることができました。

いろいろなことが整備される中で、若い職員も増え、今後の活動はより充実していくことと思います。頼もしい限りです。つむぎの里のますますの発展を祈っております。

退職にあたり、みなさんからお心遣いや激励の言葉をいただきました。とても有り難く感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。長い間お世話になりました。

宇都宮恵子

約30年、勤めていたつむぎの里を退職しました。最初に働いたのは、『ことばの教室』で大先輩の先生方と一緒に活動させて頂き、ない知識をふりしぼって一生懸命取り組みました。次の夢ポケットでは、「ハァーきつい!!」ともらすと夢の中で「がんばらなっ!」と同僚スタッフが叱咤激励してくれたことを思い出します。

肉体的にはきつかったのですが、それでも楽しく仕事をすることができました。最後のサンフラワーでは、気がつけば何と最年長のスタッフで、目・耳・頭の老化現象はどうしようもなく、若いスタッフの皆さんに助けてもらって働いている状態でした。

ふり返って30年余...ここまで無事やってこれたのも、たくさんの方々の支えがあったればこそと感謝しています。本当に本当にありがとうございました。

水上和子



後援会だより



2月12日につむぎの里の山下会長による料理教室を開催しました。
2班に分かれて「キーマカレー」と「だいこんサラダ」を作りました。お互いの
カレーの味見をしあったり、持ち寄ったドレッシングで色々な味のサラダを楽
しました。初めて料理教室に参加された早川さんも『とても美味しかったの
で今度、お父さんに作ってあげよう。是非また参加したい』と言われ、おしゃべ
りしながら和気あいあいの雰囲気楽しいひと時を過ごしました。
今後も楽しい、皆さんが参加しやすい企画をしたいと思います。

(後援会事務局)

事務局だより



ご寄付・ご寄贈いただきありがとうございました。

26年度 鐘江徳光 医療法人福泉会 瀬尾久美子 有門克恵
つむぎの里後援会

27年度 鐘江徳光 宇都宮恵子 越智和昭
(敬称略 順不同 27年4月20日現在)

後援会の継続・入会ありがとうございました

正会員

26年度会費 安武俊次 藤村和江 中島康男
27年度会費 篠原恭子

賛助会員

26年度会費 石山ミヤ子 中村幸代 古野明美 (社福)たから 高野志保
藤井裕子
27年度会費 坂田康子 青山かよ子 福本裕子 井上奈緒美

カンパ

青山かよ子

(順不同 敬称略) (26年12月~27年4月20日)

引き続き27年度後援会の継続、入会をお願いします。

編集 社会福祉法人 鶴林福祉会 つむぎの里

〒822-0006 福岡県直方市上境1467 《TEL 0949-28-2367 FAX 0949-28-2301》

年正会員費 6000円 年賛助会員費 3000円 (いずれも年間購読料を含む) 定価100円

発行 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡市東区馬出2丁目2-18 《TEL 092-292-4311・FAX 092-292-4312》